

じっくり心をこめて

スロー フード

83



ミルクゼリー

おやこの食育教室のときに作った手軽にできるゼリーです。

マシュマロの雪だるまが冬っぽいですね。

お子さんやお孫さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材料 (4人分)

- ・牛乳 240ml (1カップ強)
- ・キウイフルーツ 1/2個 ・みかん缶 4粒

【A】

- ・粉寒天 2g ・水 200ml (1カップ)
- ・砂糖 22.5g (大さじ2と2/3)

【マシュマロの雪だるま】

- ・マシュマロ 4個 ・チョコペン 1本

作り方

鍋に【A】を入れて火にかけ、よく混ぜる。沸騰させ、しっかりと溶けたら牛乳を加えて火を止め、器にそそぎ、冷やし固める。

マシュマロは半分に切ってピックにさす。チョコペンはお湯につけてやわらかくしておき、マシュマロに顔や模様をかく。

固まったゼリーにキウイとみかんを飾り、マシュマロの雪だるまをさす。

せきかわ文芸

短歌

婆ちゃんは何が欲しいと曾孫問う
今欲しいもの健康ひとつと

須貝 恵美
(高田)

肩に降る落葉纏いつ花木困う
釣荆落しの晴間勤しむ

山口 藤枝
(辰田新)

あたらしき年にて思う同友等は
賀状に一文字老いを綴れり

山口 藤枝
(辰田新)

やわらかき小春日和が掃除する
吾より先に部屋を陣取り

小池 啓子
(下関)

鯛焼を八つ並べて腹の具を
当てるも愉し食らうも愉し

渡辺千恵子
(上関)

誰の案関川村の猫ちぐら
首都圏からの注文も来て

佐藤 庄七
(愛広苑)

関川俳句の会作品

茶の花のつつましやかに下を向き

渡辺しづい

小春日や子からの便り転ぶなど

渡辺しづい

笑い合ふ小春日浴びて立話

渋谷 くに

初日さし真白き山野輝やけり

渋谷 くに



関川村議会議員として村の発展に尽力した田島孝吉は、大正十五年一月十七日、関川村下関に田島菊造の三男として生まれた。

昭和十八年三月、旧制新潟県

近・現代 関川郷の人びと

執筆者：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

田島孝吉

立新発田中学校を卒業。同年四月一日陸軍士官学校に入學。昭和二十年八月陸軍士官学校在学中終戦となり郷里に帰る。そして旧制中学校最後の年の昭和二十二年五月から同二十三年三月まで母校旧制新発田中学校で数学の代用教員をつとめた。

昭和二十三年四月から家業の酒・米穀等の販売業を営んだ。

昭和五十八年八月三十一日、田島商店株式会社を立ち上げ、平成二十二年五月まで二十七年間代表取締役をつとめた。

田島孝吉は昭和五十四年八月村民から推されて関川村議会議員に初当選し、以来平成十一年七月までの五期二十年の長きにわたり活躍。特に平成三年から二年間は副議長として、バブル崩壊から大型不況が深刻化する時代の流れの中で、幾多の問題に対処し、その豊富な経験と卓越した手腕をもって関川村議会の円滑な運営に努め、村当局と議会の調整役として活躍した。

その間、丸山大橋の竣工をはじめ九ヶ谷地区ふるさと会館の竣工や村の観光のシンボルの存在である国指定重要文化財渡邊邸周辺整備事業着工など多くの公共施設、観光施設の整備推進に尽力した。また福祉施設の充実を最重要政策とする当時の鈴

木村政と協調し、高齢者生活福祉センター「ゆうあい」の整備推進に積極的に尽力。このように村の社会資本の整備充実に、村の執行部と一致協力し、事業推進役として果たした功績は極めて大きい。

また昭和六十一年八月から三年にわたり関川村議会産業建設常任委員会委員長として、当村の産業及び建設行政に貢献した。

平成四年三月から六か月間、渡邊邸周辺整備事業等調査特別委員会委員長を務め、平成五年度の着工に向け、事業計画の審査、検討に取り組みとともに、村民への周知に努めた。

そのほか関川村議会運営委員会委員長、関川村議会選出監査委員を歴任し、持ち前の優れた才知と適切な判断力、高邁な政治信念をもって、関川村の発展と村民生活の向上に貢献した。

なお、関川村商工会の理事（通算十一年）、副会長（二年）の要職をつとめ商工会事業の振興に尽くした功績も極めて大きい。

平成二十二年五月二十四日満八十四歳でこの世を去った。

多大な功績により旭日単光章を受章した。

田島家の系図

初代
菊造 孝吉 和典

せきかわ文芸

せきかわ川柳会作品「沈黙」「空」

- | | | |
|------------------|----|-----|
| 雪吊りの面目示す雪の高 | 南 | セツ |
| 冬籠もり昔話をくりかえし | 南 | セツ |
| 住まぬ家の氷柱太く育ちおり | 青木 | 慶一 |
| 雪いかが都会より来し電話かな | 青木 | 慶一 |
| 沈黙を破りとび込む酔っ払い | 渡辺 | しづい |
| 空読みのなかなかうまいちびつ子よ | 渡辺 | しづい |
| 心澄み空の青さよ無冠の日 | 平田 | 千恵 |
| 沈黙を破ってポロリと出す本音 | 平田 | 千恵 |
| 沈黙に兜を脱いだ夫婦仲 | 南 | セツ |
| 雪国と思えぬ空に落ちつかず | 南 | セツ |
| 雨上り虹の輝き雲が行く | 本間 | イミ |
| 賀状見て人柄惚ぶ年一度 | 本間 | イミ |